



愛翔・あいちビジネスプロジェクト ～地域との協働による探究的な学び～

愛知県立愛知商業高等学校 経理科 3年 村井緋那
事務科 3年 田口育海
事務科 3年 中村美月

1. 事業の概要

本研究では、地域の課題をビジネスの視点で捉え、経営資源を最適に組み合わせ、他者と協働して地域ビジネスを展開できる人材を育成するため、3つのプログラムの開発を行うことを目的としています。

研究において、どのような資質・能力を身に付けなければならないかを考え、研究を進めました。それは、本校生徒の現状からも、自ら課題を見だし、知識をもとに課題に対して、創造的に解決する能力を身に付けることができること、また、ビジネスの諸活動で主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けることができることです。



2. 具体的・特徴的な実践内容

(1) 持続可能な未来に向けたビジネスマインドを育む海外実習

これからの地域に根差した持続可能な社会に貢献できるマーケティング方法や職業観・勤労観を学ぶことを目的に、マレーシアへ海外実習に行きました。そこでは、日本とマレーシアに拠点を構える「オタフクソース株式会社」と「イオンマレーシア」の2社にご協力いただき、地域の特色に合わせたマーケティング方法や、国の文化や宗教の多様性を意識したビジネスの在り方について学びました。また、



「JETRO」より、マレーシアから見た日本についてのお話を聞き、日本は産業が大きく衰退しており、プロモーション方法に大きな課題があるというイメージがあることを知り、日本産業の現状を目の当たりにしました。海外に訪れビジネスについて学んだことで、「顧客の関心に合う販売方法やプロモーションを行うこと」を日本の課題として見出すことができました。そこで、日本の産業を魅力的に発信する方法を研究し、日本の活性化に貢献したいと考えました。

(2) 地域産業の課題解決に向けたプロモーション活動

海外実習で得た学びを基に、国内でも縮小傾向にある、エシカルな地域資源「伝統工芸品」の普及活動に挑戦するとともに、SDGs の達成貢献に向けた取り組みを実施しました。

① 小学生を対象にした伝統工芸品の魅力を伝えるオンラインビジネスの創造

伝統工芸品の魅力が全国的に知られていないことを地域の課題にあげ、「株式会社ドングルズ」と協働で全国の小学生に向けた伝統工芸品の魅力を発信するオンラインイベントを継続開催するビジネスを展開しました。第一回目は「有松絞り」をテーマにし、伝統工芸品の技法を簡略化して自宅で染色体験していただいたり、講師として招いた職人と交流したりと本格的かつ分かりやすく学べるイベントとなりました。開催するまでには参加者が定員に満たない等、多くの苦労がありました。0から1を生み出す力が身に付くとともに、イベント終了後には「今後もこのようなイベントに参加したい」という声をいただき、今までにない達成感を味わうことができました。



② 観光 PR 動画で町おこし

第一回目のオンラインイベントのテーマとした有松絞りのさらなる認知度拡大のため、2019年に日本遺産に登録された有松地区を舞台にした観光 PR 動画を作成しました。YouTubeへその動画を投稿することで、常時広範囲への発信を可能にし、産地に観光客を呼び込み、地域産業の活性化に繋げることを目的としています。有松に何度も訪れ、現地の方へのインタビュー調査や、視覚的情報や聴覚から魅力が伝わるようテレビ番組を参考に等、SDGsの視点から有松の文化に触れられる観光 PR 動画に仕上げました。中京テレビ放送株式会社様や伝統工芸品のビジネスを展開する株式会社アットホームスタジオ様といった各分野の専門家から何度もアドバイスをいただき、多くの方と連携をとおして、コミュニケーション能力を身に付けました。同時に、この体験が人前で自分の意見を述べる自信にも繋がりました。



3. 成果と改善の方向性

大きな成果としては、多くの生徒が地域の企業と関わる機会が得られ、私達が、地元企業や地域の抱える問題をビジネスの視点で捉えることができるようになりました。

3年間の0から1を生み出す活動を通して、課題発見からその解決に向けて主体的に考え行動する力や、コミュニケーション能力が身に付けました。高校生の間に探究活動を行ったことで、新たな自分と出会い、今後、社会で活動することに対して自信がつけました。

今後は、今年度から本校で配布されたタブレットを活用し、他校や世界と交流する場を設けることで、お互いの強みを学び合い、世界的視野を養うとともに、多様化する社会の流れに臨機応変に対応する力を身に付けていきたいです。

1 貧困をなくそう



2 飢餓をなくそう



3 すべての人に質の高い教育を

4 質の高い教育を



5 ジェンダー平等を



6 安全な水とトイレを世界中に



第31回全国産業教育フェア埼玉大会（令和3年10月30日）

スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール事業及び地域との協働による高等学校教育改革推進事業（プロフェッショナル型）発表会

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



愛翔・あいちビジネスプロジェクト

12 つくる責任 つかう責任

～地域との協働による探究的な学び～

14 海の豊かさを



愛知県立愛知商業高等学校

経理科3年 村井 緋那

事務科3年 田口 育海

事務科3年 中村 美月



「持続可能な開発目標」です

愛商生の実態から

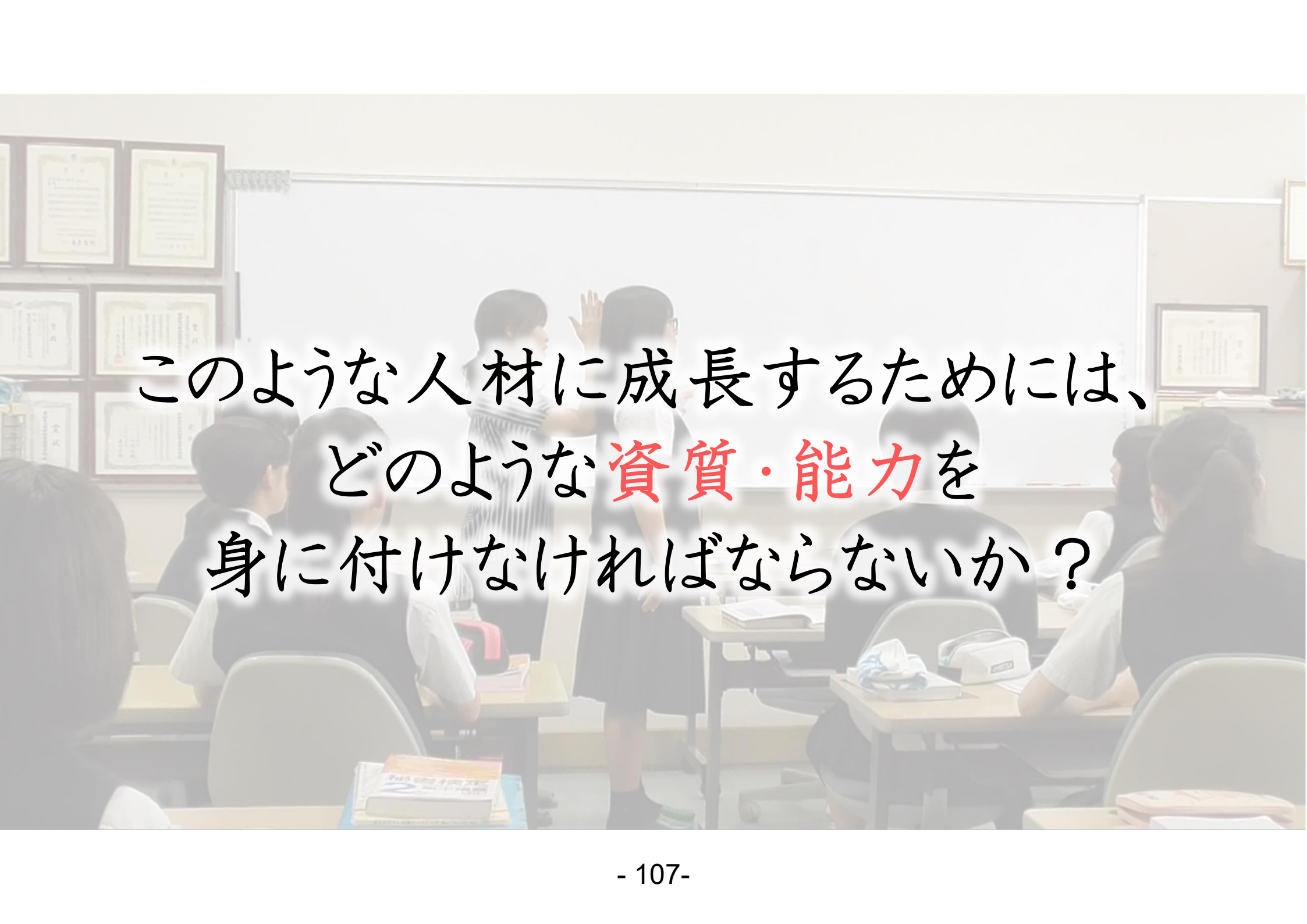
- コミュニケーション能力の身に付け方がわからない
- 人前で意見を述べることができない
- 地域経済やビジネスの課題や疑問点を見つけられない
- 受け身の姿勢が強く、主体的に行動することができない

本校が育成したい生徒像

自ら考え、判断し行動できる

ビジネスリーダー育成

地域ビジネスを展開できる人材育成



このような人材に成長するためには、
どのような**資質・能力**を
身に付けなければならないか？

「何ができるようになるか」

※本校での学習を通して、磨くべき資質・能力

- 自ら課題を見いだし、知識をもとに課題に対して、**創造的に解決する能力**を身に付ける
- ビジネスの諸活動で**主体的かつ協働的に**
取り組む態度を身に付ける

本研究におけるアプローチ

地域ビジネス理解促進プログラム

3つの研究開発プログラム

愛知版ビジネス連携プログラム

実践内容



1年次

「マーケティング講座Ⅰ」実施

The AEON logo is displayed in a purple color. It features the word "AEON" in a stylized, bold, sans-serif font. The letter "A" is unique, with a horizontal line passing through its center and extending to the left.

マーケティング活動を
体験的・総合的に学習できる

2年次

「課題解決能力」「創造力」

学校設定科目「地域協働ビジネス実践」

◎ 実際のビジネスの学習
・・・インターンシップ



3年次

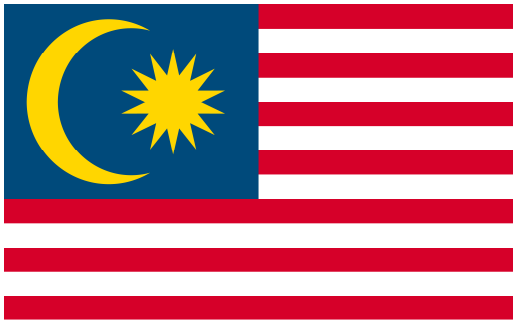
「企画力」 「協働的に取り組む態度」

地域ビジネスを展開

◎ビジネスの実践

商品開発・販売実習・広告作成

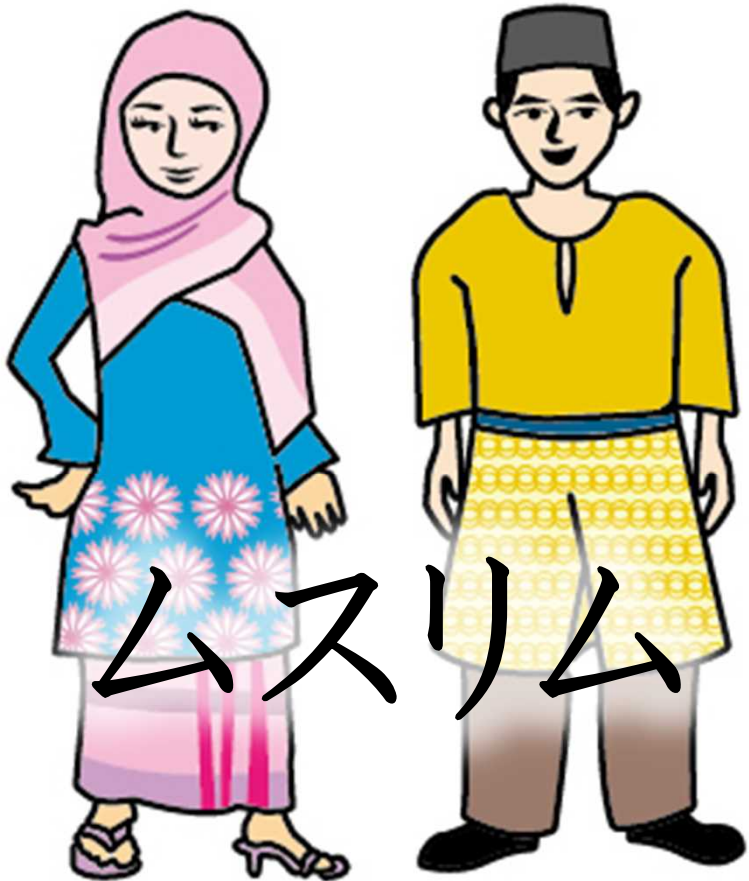




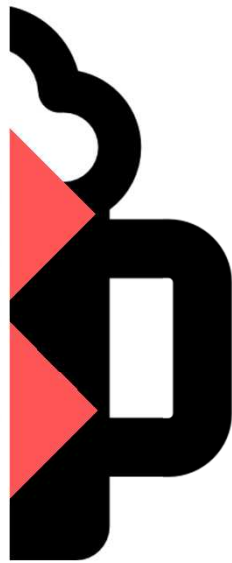
マレーシア海外研修

研修の目標

- 1 訪問先の企業での研修を通して、
商品開発・広告・販売促進について学ぶ
- 2 体験を通して勤労観、職業観を高める
きっかけとする
- 3 訪問先の企業が抱える課題発見、課題
解決を行うことがどのようなことに繋がって
いるのかを学ぶ



ムスリム



ハラール認証



多様性を認め合い
個人を尊重する文化



女性が多く採用

地域や文化に合わせた
マーケティングやビジネス

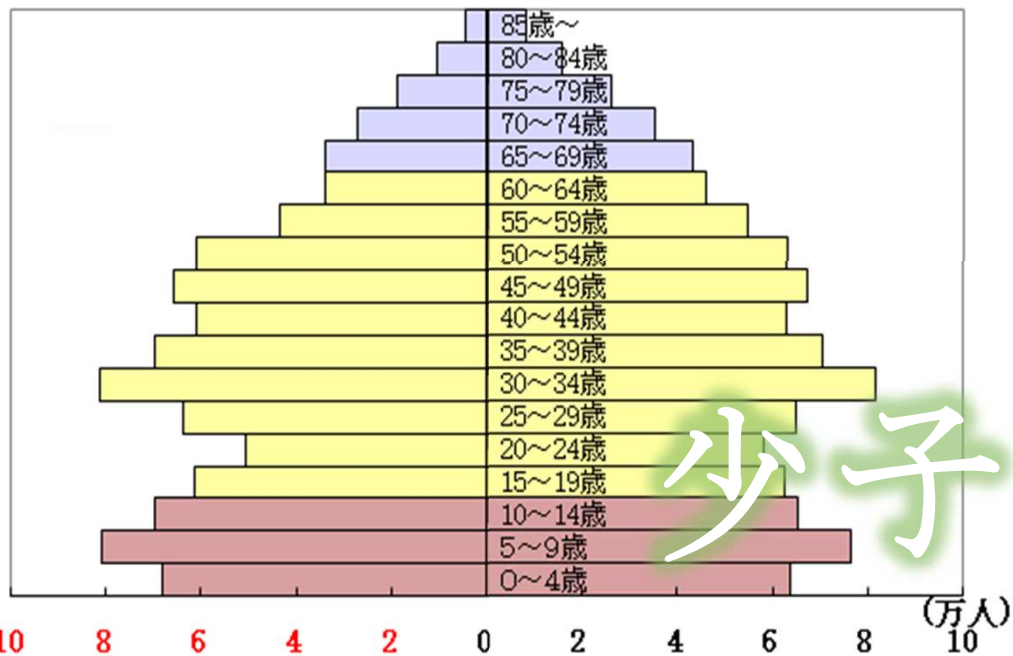
JETRO
Kuala Lumpur

マレーシア

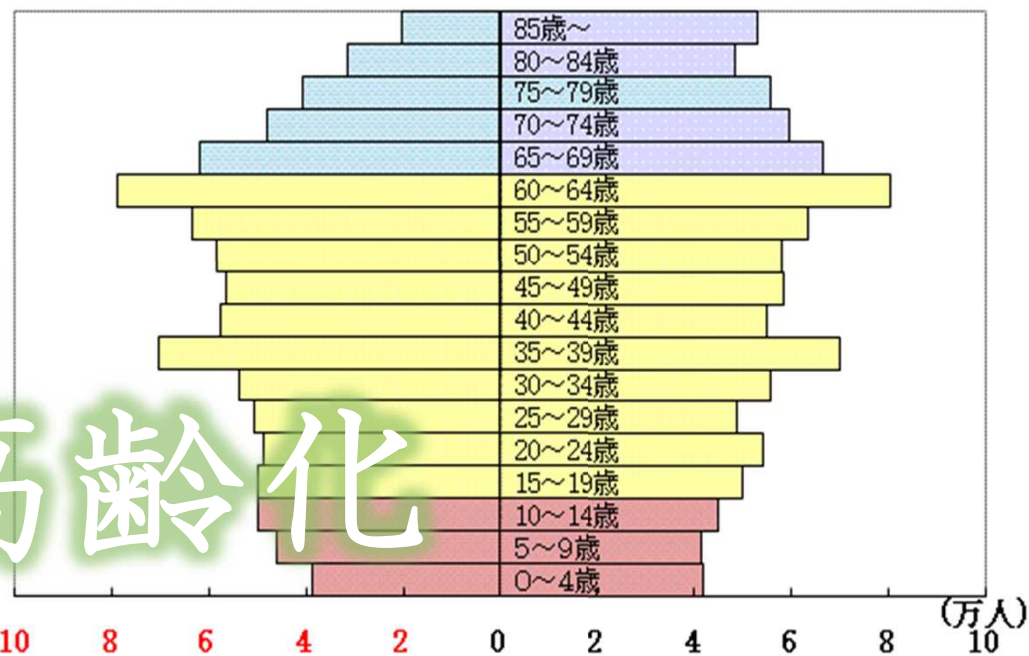
日本



資料:国勢調査報告(総務省) ※昭和55年10月1日現在の数値



資料:国勢調査抽出速報(総務省) ※平成22年10月1日現在の数値



少子高齢化

→ 労働者不足になり衰退

プロモーションに課題





TOYOTA

Panasonic

SONY

技術を売りにし
高額で販売

ニーズと販売方法が合っていない



特色に合わせたマーケティングの重要性